

営農情報

2022
3月号 No.110



J Aレーク伊吹 経済部 営農企画課
TEL 0749-63-2101 FAX 0749-64-2085

今月の話題

- 春の土づくり
- 水稻の春作業について
- 春の農作業安全確認
- 農地中間管理事業のご案内
- 令和4年
学校給食等園芸特産品の出荷者募集中
- 農政ダイジェスト

メモ

お早めに!

✓ ラウンドアップマックスロード
春の大型企画キャンペーン
3月31日まで

✓ 免税軽油
免税証の交付申請の事前受付が2/1か
ら始まっています。

滋賀県 東北部県税事務所 課税課
長浜市平方町1152-2
0749-65-6608

春の土づくり

近年、温暖化の進行により収量・品質に大きな影響を及ぼしています。水稲は昔から「地力でつくるもの」とも言われており、地力は収量に大きく影響し土づくりが重要です。

<土づくり肥料の施用で稲体の活力アップ>

ケイ酸質資材を施用することで気象変動に強い稲体をつくれます。

また、アルカリ成分を含む資材はpHを上げる効果もありカドミウム抑制効果が望めます。

秋施用できなかった方は必ず春に散布しましょう

ケイ酸の効果

- 倒伏軽減
- 病害虫抑制(カメムシ被害、いもち病の軽減)
- 登熟や品質向上



<深耕を!!>

作土深15cmを確保しましょう。

作土が深くなると、根が伸びる範囲が広がり多くの養水分の吸収が可能となります。

作土深15cmを確保するためにトラクターの速度を落とし、ロータリーの回転数を遅くし深耕を心がけましょう。

水稲の春作業について

作付け前の圃場の準備として畦畔等の管理作業が重要です。漏水対策や均平作業を行う事で水持ちが良くなり、除草剤の効果が高まると共に濁水防止にも繋がります。下記のチェックリストを活用して準備を行いましょ。

● 畦からの漏水を防ぐ!



土が少し湿った状態で!

畔周りを点検し、亀裂やモグラの穴などを修復します。畦塗機を用いると、より効果的に漏水を防げます。

● 入水前には排水口の漏水対策!



水漏れしないように!

入水前は排水口の前に土を厚く盛るか、止水板を設置し、排水耕まわりの漏水を防ぎます。

● 代かきは浅水で!



水の量はこれぐらいで十分!

土が7~8割見える浅水状態で代かきをします。水田八口ーを用いると、より仕上がりが良くなります。

☐ 田面を均平に仕上げる!

田面が均平だと少ない水量で湛水できます。レーザーレベラーを用いるとより均平に仕上がります。



漏水対策はまず均平から!

☐ 畦からの漏水を防ぐ!

畦周りを点検し、亀裂やモグラの穴などを補修します。畦塗機を用いると、より効果的に漏水を防げます。



土が少し湿った状態で!

☐ 入水前には排水口の漏水対策!

入水前は排水口の前に土を厚く盛るか、止水板を設置し、排水口まわりの漏水を防ぎます。



水漏れしないように!

水田内の凸凹や漏水により水管理が出来ていないと除草剤の効果が出にくくなります。

要注意!



代かきが不十分だった

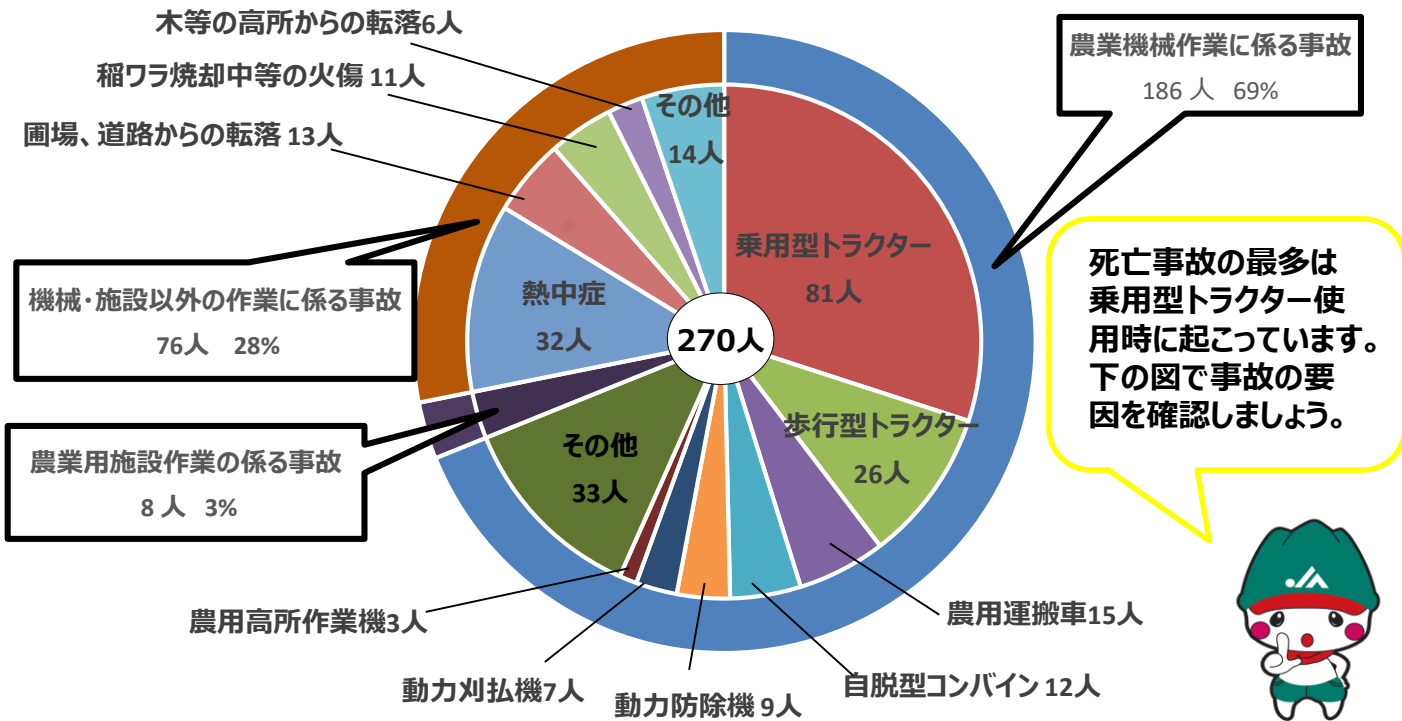


あぜが崩れていた

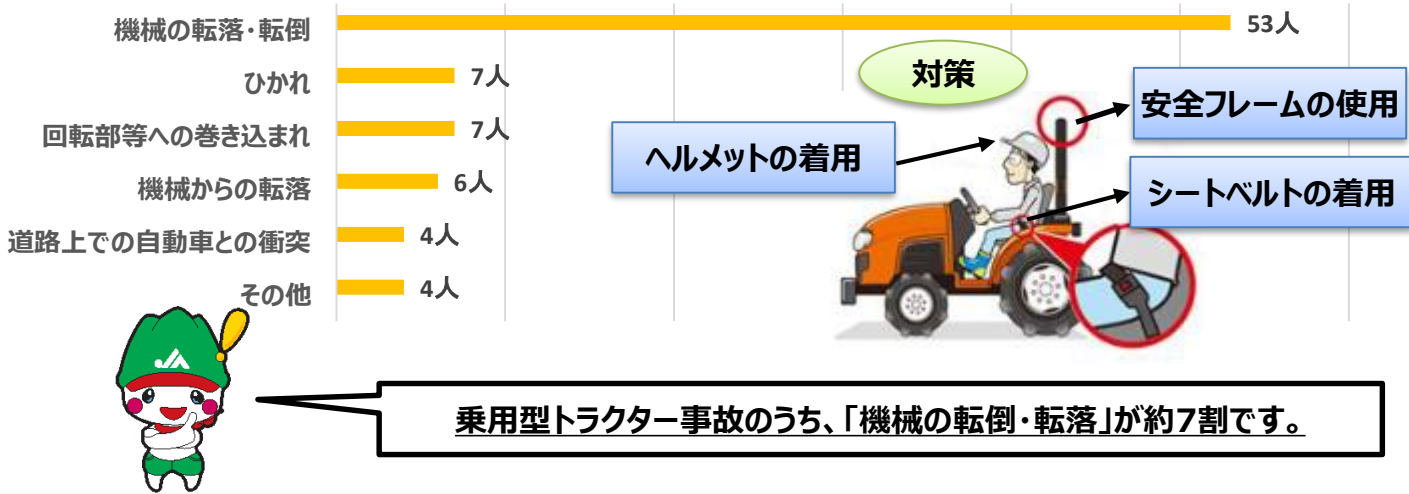
春の農作業安全確認

2月15日に農水省は令和2年の農作業事故情勢を発表しました。死亡者数は令和元年よりも11人少ない270人となりましたが、農業従事者10万人当たりでは前年よりも0.6人増えて10.8人となり過去最多を更新しています。例年同様に作業安全に対する意識付けが必要となります。

要因別の死亡事故発生状況（令和2年）



乗用型トラクター事故による死亡の要因（令和2年）



事故ゼロに向けて

- トラクターや田植え機でのほ場への進入・退出時は慎重に
- 機械の点検整備を行う際は、必ずエンジンを止める
- 道路走行中に追突されないように視認しやすい反射板や灯火器類を取り付ける
- 刈払機を使用する際は、農道や畦畔の点検を行い石や空き缶などのケガの原因になるものを取り除く

- こまめな休憩や水分補給
- 万が一に備え労災保険に加入



農作業中事故は、身心だけではなく金銭面や事業の継続に対しても大きな影響が発生する可能性があります。作業中のみではなく、事故の予防対策についても十分に取組みましょう。

農地中間管理事業のご案内

農地中間管理事業とは、知事の指定を受けた公的機関である農地中間管理機構が、所有者から農用地等を借り受け、担い手がまとまりのある形で利用できるように配慮して貸し付ける事業です。

<div style="text-align: center;">メリット</div>	<div style="text-align: center;">受付期間</div>
農地を貸したい方 <ul style="list-style-type: none"> ● 契約期間終了後、農地は確実に戻ります。 ● 機構に貸付けた農地は固定資産税が軽減される場合があります。 ● 賃料は機構からの口座振込による支払。等々 	<div style="text-align: right;">受付中</div> 前期 3月1日～6月30日 後期 8月1日～10月29日
農地を借りたい方 <ul style="list-style-type: none"> ● 農地をまとまりのある形で借入事が可能 ● 農地を長期（10年以上）に借入でき、効率的、安定的な農業経営ができます。 ● 賃料の支払事務が軽減できます。 	通年(随時)

令和4年度 学校給食等園芸特産品の出荷者募集中

JALレーク伊吹特産振興課では計画生産に基づいた園芸特産品の買取販売での出荷者を募集しています。主な販売先は学校給食と近隣店舗や近隣JAの直売所です。出荷の条件等につきましては下記までお問い合わせください。

★主な出荷物★

学校給食向け：キャベツ・ネギ・白菜・きゅうり・なす・大根・ほうれん草・かぶ等

※特に白菜・ほうれん草・人参の出荷量が不足しています。

近隣店舗や近隣JAへの出荷は多品目の販売を目指していますので事前にご相談ください。



問合せ先：JALレーク伊吹特産振興課
長浜市加田町3143番地
TEL：0749-63-2108 担当：居林

ひと月の動き

農政ダイジェスト

農業・地域の雑誌「地上」より抜粋
～定価（税込）618円 購読申込受付中～

イネ害虫を自動認識するAIを開発

農研機構は、イネ害虫の発生調査において調査版の画像からイネウカ類を自動認識するAIを開発したと発表した。イネウカ類3種を雄雌や幼虫・成虫などに全18分類して90%以上の精度で見分けることができ、目視では調査版1枚当たり1時間以上かかることもある調査を3～4分に短縮できる。

政府備蓄米、初回でほぼ全量落札

農林水産省は2022年産政府備蓄米の第1回買入札結果を公表した。買入予定数量の20万7000tに対して応札は31万5044t、落札数量は20万5550t。初回の入札で年間買入予定数量の99.3%が落札された。

世界の食料価格、10年ぶりの高水準

FAO（国連食糧農業機関）が世界の食料価格指数を発表。21年は前年より28.1%上昇となる125.7ポイントで、11年以来の高水準となった。主要穀物生産国の不作と、中国などの食料需要増が影響した。単月での指数は11月134.9、12月133.7だった。

巨大経済圏「RCEP」が発効

地域的な包括的経済連携（RCEP）協定が発効した。国内手続きを終えた日本、中国、オーストラリア、ニュージーランド、タイ、シンガポール、ブルネイ、ベトナム、カンボジア、ラオスの10か国でスタートし、2月には韓国でも発効する。残る4か国を加えると、人口約23億人、GDP約25兆ドルの巨大経済圏になる。